

タウンミーティング政策テーマ別・共催開催日程(平成18年9月初旬までの開催)

平成18年度

テーマ別開催	日付
政策テーマ別開催	12月11日(東京)

政策テーマ別(1回)

共催団体名	開催日時	開催場所
NPO協働改革推進事業人会との共催	3月2日	東京駅

平成14年度

政策テーマ別開催	開催日時	開催場所
雇用創出	4月30日(大塚)	4月30日(大塚)
暮らしと健康(高齢者に対する)	5月11日(大塚)	5月11日(大塚)
暮らしと健康(高齢者に対する)	8月15日(大塚)	8月15日(大塚)
暮らしと健康(高齢者に対する)	7月18日(大塚)	7月18日(大塚)
暮らしと健康(高齢者に対する)	3月2日(大塚)	3月2日(大塚)
暮らしと健康(高齢者に対する)	5月28日(大塚)	5月28日(大塚)
暮らしと健康(高齢者に対する)	8月11日(大塚)	8月11日(大塚)
暮らしと健康(高齢者に対する)	12月12日(大塚)	12月12日(大塚)
元気な中小企業と産業界の連携	7月20日(大塚)	7月20日(大塚)
人材育成(教育関係)	7月27日(大塚)	7月27日(大塚)
美しく快適な環境(地球温暖化、リサイクル)	9月14日(大塚)	9月14日(大塚)
大学等がユニバーシティ(人材育成、産学連携)	9月28日(大塚)	9月28日(大塚)
未来の日本(人材育成)	1月18日(大塚)	1月18日(大塚)
世界のなかの日本(外交・国際関係)	2月16日(大塚)	2月16日(大塚)
企業改革	3月1日(大塚)	3月1日(大塚)
企業改革	3月18日(大塚)	3月18日(大塚)

政策テーマ別(17回)

共催団体名	開催日時	開催場所
協賛者会連盟	6月24日(南流)	南流
いよいよグローバルの共催(住居環境の改善)	8月23日(豊田)	豊田
日本青年会議所	7月20日(南流)	南流
住居環境改善協議会(住居環境)	8月23日(豊田)	豊田
住居環境改善協議会(住居環境)	8月23日(豊田)	豊田
住居環境改善協議会(住居環境)	8月23日(豊田)	豊田
住居環境改善協議会(住居環境)	8月23日(豊田)	豊田
住居環境改善協議会(住居環境)	8月23日(豊田)	豊田
住居環境改善協議会(住居環境)	8月23日(豊田)	豊田
住居環境改善協議会(住居環境)	8月23日(豊田)	豊田

政策テーマ別(17回)

共催団体名	開催日時	開催場所
共催団体名	5月23日(南流)	南流
足利青年会議所(地方創生の推進)	6月23日(足利)	足利
足利青年会議所(地方創生の推進)	10月19日(足利)	足利
京都大学	11月2日(京都)	京都
京都大学(京大)	11月9日(京都)	京都
京都大学(京大)	11月23日(京都)	京都
京都大学(京大)	11月24日(京都)	京都
京都大学(京大)	12月11日(京都)	京都
京都大学(京大)	12月13日(京都)	京都

共催(9回)

平成16年度

政策テーマ別開催	開催日時	開催場所
経済改革	4月2日(大塚)	大塚
経済改革	5月13日(大塚)	大塚
経済改革	10月30日(大塚)	大塚
経済改革	11月27日(大塚)	大塚
経済改革	3月5日(大塚)	大塚
経済改革	4月10日(大塚)	大塚
経済改革	4月17日(大塚)	大塚
経済改革	5月13日(大塚)	大塚
経済改革	5月27日(大塚)	大塚
経済改革	5月30日(大塚)	大塚
経済改革	6月20日(大塚)	大塚
経済改革	6月28日(大塚)	大塚
経済改革	8月22日(大塚)	大塚
経済改革	8月27日(大塚)	大塚
経済改革	8月28日(大塚)	大塚
経済改革	9月1日(大塚)	大塚
経済改革	9月12日(大塚)	大塚
経済改革	9月15日(大塚)	大塚
経済改革	10月13日(大塚)	大塚
経済改革	12月16日(大塚)	大塚
経済改革	1月15日(大塚)	大塚
経済改革	3月27日(大塚)	大塚

政策テーマ別(14回)

共催団体名	開催日時	開催場所
共催団体名	8月22日(南流)	南流
共催団体名	9月11日(南流)	南流
共催団体名	12月18日(大塚)	大塚
共催団体名	2月27日(大塚)	大塚

共催(4回)

平成17年度

政策テーマ別開催	開催日時	開催場所
地球環境化	4月12日(大塚)	大塚
地球環境化	4月10日(大塚)	大塚
地球環境化	4月17日(大塚)	大塚
地球環境化	4月23日(大塚)	大塚
地球環境化	5月14日(大塚)	大塚
地球環境化	10月10日(大塚)	大塚
地球環境化	3月23日(大塚)	大塚
地球環境化	4月4日(大塚)	大塚
地球環境化	4月11日(大塚)	大塚
地球環境化	5月13日(大塚)	大塚
地球環境化	5月27日(大塚)	大塚
地球環境化	6月11日(大塚)	大塚
地球環境化	6月18日(大塚)	大塚
地球環境化	6月25日(大塚)	大塚
地球環境化	7月2日(大塚)	大塚
地球環境化	7月9日(大塚)	大塚
地球環境化	7月16日(大塚)	大塚
地球環境化	7月23日(大塚)	大塚
地球環境化	7月30日(大塚)	大塚
地球環境化	8月6日(大塚)	大塚
地球環境化	8月13日(大塚)	大塚
地球環境化	8月20日(大塚)	大塚
地球環境化	8月27日(大塚)	大塚
地球環境化	9月3日日(大塚)	大塚
地球環境化	9月10日(大塚)	大塚
地球環境化	9月17日(大塚)	大塚
地球環境化	9月24日(大塚)	大塚
地球環境化	10月1日(大塚)	大塚
地球環境化	10月8日(大塚)	大塚
地球環境化	10月15日(大塚)	大塚
地球環境化	10月22日(大塚)	大塚
地球環境化	10月29日(大塚)	大塚
地球環境化	11月5日(大塚)	大塚
地球環境化	11月12日(大塚)	大塚
地球環境化	11月19日(大塚)	大塚
地球環境化	11月26日(大塚)	大塚
地球環境化	12月3日(大塚)	大塚
地球環境化	12月10日(大塚)	大塚
地球環境化	12月17日(大塚)	大塚
地球環境化	12月24日(大塚)	大塚
地球環境化	12月31日(大塚)	大塚

政策テーマ別(20回)

共催団体名	開催日時	開催場所
共催団体名	11月22日(南流)	南流
共催団体名	2月2日(南流)	南流
共催団体名	3月19日(大塚)	大塚

共催(3回)

平成18年度

政策テーマ別開催	開催日時	開催場所
住居環境改善	4月1日(大塚)	大塚
住居環境改善	4月10日(大塚)	大塚
住居環境改善	4月23日(大塚)	大塚
住居環境改善	5月14日(大塚)	大塚
住居環境改善	5月27日(大塚)	大塚
住居環境改善	6月11日(大塚)	大塚
住居環境改善	6月18日(大塚)	大塚
住居環境改善	6月25日(大塚)	大塚
住居環境改善	7月2日(大塚)	大塚
住居環境改善	7月9日(大塚)	大塚
住居環境改善	7月16日(大塚)	大塚
住居環境改善	7月23日(大塚)	大塚
住居環境改善	7月30日(大塚)	大塚
住居環境改善	8月6日(大塚)	大塚
住居環境改善	8月13日(大塚)	大塚
住居環境改善	8月20日(大塚)	大塚
住居環境改善	8月27日(大塚)	大塚
住居環境改善	9月3日(大塚)	大塚
住居環境改善	9月10日(大塚)	大塚
住居環境改善	9月17日(大塚)	大塚
住居環境改善	9月24日(大塚)	大塚
住居環境改善	10月1日(大塚)	大塚
住居環境改善	10月8日(大塚)	大塚
住居環境改善	10月15日(大塚)	大塚
住居環境改善	10月22日(大塚)	大塚
住居環境改善	10月29日(大塚)	大塚
住居環境改善	11月5日(大塚)	大塚
住居環境改善	11月12日(大塚)	大塚
住居環境改善	11月19日(大塚)	大塚
住居環境改善	11月26日(大塚)	大塚
住居環境改善	12月3日(大塚)	大塚
住居環境改善	12月10日(大塚)	大塚
住居環境改善	12月17日(大塚)	大塚
住居環境改善	12月24日(大塚)	大塚
住居環境改善	12月31日(大塚)	大塚

政策テーマ別(18回)

共催団体名	開催日時	開催場所
共催団体名	7月22日(大塚)	大塚
共催団体名	7月30日(大塚)	大塚
共催団体名	8月3日日(大塚)	大塚

共催(3回)

タウンミーティング立ち上げについての総理・官房長官の発言等

○第151回国会における小泉内閣総理大臣所信表明演説(平成13年5月7日)

(むすび)

私は、積極的な「国民との対話」を通じて、国民の協力と支援の下に、新しい社会、新しい未来を創造していく作業に着手します。関係閣僚などが出席するタウンミーティングを、全ての都道府県において半年以内に実施し、また、「小泉閣僚メールマガジン」を発刊します。こうした対話を通じ、国民が政策形成に参加する機運を盛り上げていきたいと思います。

○総理閣議発言(平成13年5月15日(火)閣議)

タウンミーティング ー小泉内閣の国民対話ーの実施について
先般の所信表明において述べた半年以内の全都道府県での「タウンミーティングー小泉内閣の国民対話ー」につきましては、早急に実施することとします。
つきましては、内閣を挙げて速やかに準備に取り掛かるべく、内閣官房長官に、全体の取りまとめをお願いいたします。

○官房長官閣議発言(平成13年5月15日(火)閣議)

タウンミーティング ー小泉内閣の国民対話ーの実施について
ただいま総理から発言のありました「タウンミーティング ー小泉内閣の国民対話ー」につきましては、内閣府に担当室を設けて早速準備に着手し、実施に万全を期してまいります。
各閣僚には、分担してタウンミーティングに出席していただくことを考えておりますので、御協力をお願いいたします。

タウンミーティングについての小泉総理・官房長官の発言等

○第154回国会における小泉内閣総理大臣施政方針演説(平成14年2月4日)(むすび)

昨年六月から始めたタウンミーティングは、四十七都道府県を一巡し、小泉内閣は、多くの国民と活発な対話を行うことができました。今後も、多様な形で、対話を継続します。

○官房長官発言(平成14年3月29日(金)閣僚懇談会)
(平成十四年度の「タウンミーティング」の実施について)

平成十四年度のタウンミーティングについては、「雇用創出」、「暮らしと改革」といった政策テーマ別の実施や、政府と国民の共催など、多様な形で継続していくことといたします。

この度、第一回の開催として、四月二十日に大阪府守口市で「雇用創出タウンミーティング」を実施し、その後、夏頃までに十回程度開催することとしました。

昨年来、閣僚の皆様方には、分担して御出席していただくなど御協力いただき誠にありがとうございます。特に、御出席回数が多かった大臣には、この場をお借りして御礼申し上げます。

今後も、閣僚の皆様方には、引き続き御協力いただきますますよろしくお願いいたします。

○官房長官発言(平成14年8月2日(金)閣僚懇談会)

(平成十四年度の「タウンミーティングー小泉内閣の国民対話ー」について)

平成十四年度のタウンミーティングは、先週未だに全国各地で合計十一回開催し、約四千人の国民の参加を得ることができました。

会場で実施したアンケート結果を見ると、地域によって差はあるものの、全体として、タウンミーティングに参加した国民の、小泉内閣の構造改革に対する理解が深まったと思います。

閣僚の皆様方には、分担して御出席いただくなど、御協力いただき誠にありがとうございます。

今後の予定ですが、八月は開催しないこととし、九月以降、政策テーマ別や国民との共催など多様な形で継続したいと考えておりますので、よろしく願います。

○官房長官発言(平成14年12月17日(火)閣僚懇談会)

(平成十四年度の「タウンミーティングー小泉内閣の国民対話ー」について)

平成十四年度のタウンミーティングは、先週末までに全国各地で合計二十回開催し、これまでに七千名以上の国民の参加がありました。

今年度は、政策テーマ別や国民との共催による実施など多様な形態での開催を進めてきたところであり、九月以降は、大学の学園祭との共催なども試み、参加者の好評を得て、有意義で活発な対話が行われてきております。

お忙しい中、御出席いただいた関係の方々には、この場をお借りして御礼申し上げます。

今後は、一月以降年度末までに更に数回開催することとしております。閣僚の皆様方には、今後とも分担して御出席いただくなど、引き続き御協力いただきますようお願いいたします。

○第156回国会における小泉内閣総理大臣施政方針演説(平成15年1月31日)

(日本の魅力再生)

各地域で多様な形のタウンミーティングを開催し、国民との活発な対話を継続します。

○官房長官発言(平成15年3月28日(金)閣僚懇談会)

(平成十四年度の「タウンミーティング」の概要と平成十五年度の開催について)

平成十四年度のタウンミーティングは、昨年四月二十日の大阪府守口市から本年三月十六日の東京まで、合計二十六回開催し、約一万人の参加者を得ることができました。

今年度は、政策テーマ別や国民との共催による実施など多様な形で開催して参りました。中でも、学園祭との共催や企業改革経営者等として表彰された方々をお招きしての対話など、特色あるタウンミーティングも実施し、有意義で活発な対話を行うことができました。

お忙しい中、御出席いただいた関係の皆様方には、この場を借りて、御礼申し上げます。

平成十五年度においても、小泉総理が施政方針演説で述べられたように、各地域で更に多様な形のタウンミーティングを実施することとしております。政府の重要施策をテーマとした対話や、地域イベント等との連携による地域に密着した開催方法など、様々な工夫をしていきたいと思っております。

閣僚の皆様方には、今後とも分担してタウンミーティングに御出席いただくなど、引き続き御協力いただきますようお願いいたします。

○官房長官発言(平成15年6月20日(金)閣僚懇談会)

(「タウンミーティング週間」の実施について)

タウンミーティングにつきましては、これまで閣僚の皆様には御協力いただき、ありがとうございます。

この度、平成十五年度の新たな企画として、一定の期間に集中してタウンミーティングを開催し、これに全閣僚の出席をお願いする「タウンミーティング週間」を実施したいと思っております。これは、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針二〇〇三」が今月末にもとりまとめられることなどを踏まえ、内閣を挙げて国民対話に積極的に取り組み、構造改革の推進に対する国民の理解を一層深めることをねらいとして、新たにいうものです。

開催期間は、八月四日から十日の七日間とし、同週中は、全国主要都市でタウンミーティングを毎日開催して、全閣僚に最低一回は出席をお願いするものとしていたと考えています。

閣僚の皆様方には、御協力をよろしくお願いいたします。

○第159回国会における小泉内閣総理大臣施政方針演説(平成16年1月19日)
(むすび)

国民との対話、タウンミーティングは通算百回を数えました。今後とも様々な形で開催します。

○官房長官発言(平成16年2月6日(金)閣僚懇談会)

(「タウンミーティングー小泉内閣の国民対話ー」について)

タウンミーティングにつきましては、平成十三年六月に開始して以来、昨年十二月をもって開催回数が百回となり、のべ百五十八名の閣僚の皆様には御出席いただきました。お忙しい中御協力いただいた関係の皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。

つきましては、来たる二月二十八日(土)に、百回突破記念「タウンミーティングーイン 官邸 遠野」を開催したいと思います。

官邸では、総理と出席回数最多の竹中大臣と担当大臣である私が出席し、過去百回の参加者の代表をお招きして懇談するとともに、岩手県遠野市の会場では、亀井大臣及び金子大臣が出席して国民と対話を行います。また、両会場を中継で結び、総理と遠野会場の参加者で対話していただく予定です。

また、「地域再生」は内閣の最重要課題であり、今後、一層強力に推進していくため、地域再生タウンミーティングを集中的に開催していきたいと思っております。関係閣僚の皆様には、分担して御出席いただくたいと考えておりますので、引き続き御協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

※地域再生TMMの第1回(宇都宮)と第2回(小豆島)の開催について、別途、2/23(火)開催後記者会見で発表

○官房長官発言(平成16年3月2日(火)閣僚懇談会)

(「タウンミーティング—小泉内閣の国民対話—」について)

去る二月二十八日(土)に百回突破記念「タウンミーティング イン 官邸アード 遠野」を開催し、官邸会場における過去の参加者代表十一名との懇談、遠野会場での対話、両会場を中継で結んでの対話など、国民との対話が盛大に行われました。その模様につきましては、簡単な資料をお手元にお配りしております。

今後も各閣僚にタウンミーティングへの参加をお願いするとともに、開催直後の閣僚懇談会において、本日も同様、簡単な資料を配布しつつ、参加された閣僚から感想を含めて開催の状況などを一言ずつ御発言いただきたいと考えておりますので、あわせてよろしくお願い申し上げます。

○官房長官発言(平成16年6月22日(火)閣僚懇談会)

(「タウンミーティング—小泉内閣の国民対話—」について)

本年二月の「百回突破記念タウンミーティング」以来、先週末までに、全国各地で合計十五回のタウンミーティングを開催し、約五千人の国民の参加を得ることができました。国会開会中でお忙しい中、閣僚の皆様には御協力いただき誠にありがとうございました。

このうち、十回を数えた「地域再生タウンミーティング」においては、各会場に全国各地の地域再生への取組やこれを支援する各省庁の施策を紹介するコーナーを設けるなど新たな工夫も取入れ、小泉内閣の地域再生への取組に対して、国民の理解が深まったと思います。

今後の予定ですが、七月中は参議院選挙もあるため開催しないこととし、夏以降、政策テーマ別や国民との共催など様々な形で継続してまいりますので、閣僚の皆様には引き続き御協力のほどよろしくお願いいたします。

○官房長官発言(平成16年10月1日(金)閣僚懇談会)

(今後の「タウンミーティング—小泉内閣の国民対話—」について)

タウンミーティングは、新しい社会、新しい未来を創造していくことを目的に、小泉内閣の各閣僚と国民との直接対話の場として平成十三年六月より実施しております。

新たな小泉内閣におきましても、東京で行われる十月三日の ODA タウンミーティングを皮切りに、今後も各地域で多様な形のタウンミーティングを開催し、国民の政策形成参加の機運の醸成を図りたいと考えております。

各閣僚の皆様方には、分担してタウンミーティングに御出席いただくなど、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○官房長官発言(平成17年7月15日(金)閣僚懇談会)

(親子タウンミーティングの実施について)

子ども達が、社会のことを考え、日本の未来や自分たちの将来について夢と希望を育てるようには、我が国にとって極めて重要であり、我々大人の責任です。

このため、夏休み期間を利用して、八月後半に、小学五年生から高校生までの子どもとその保護者の方々が参加する親子タウンミーティングを、「文化力」、「日本二十一世紀ビジョン」、「地球環境」及び「科学技術」の四つのテーマで開催することとしました。

関係閣僚の皆様におかれましては、親子タウンミーティングの実施に御協力いただきますようお願いいたします。

○官房長官発言(平成17年11月11日(金)閣僚懇談会)

(今後の「タウンミーティング—小泉内閣の国民対話—」について)

タウンミーティングは、新しい社会、新しい未来を創造していくため、小泉内閣の各閣僚と国民との直接対話の場として平成十三年六月より実施しております。

先般、内閣改造がありました。十一月二十七日に京都で行われる「私たちが担う次代の文化力タウンミーティング」を皮切りに、今後とも引き続き、各地域でタウンミーティングを開催し、国民の政策形成過程への参加機運の醸成に努めてまいります。

各閣僚の皆様方には、タウンミーティングへの出席など、ご協力いただきますようお願いいたします。

○官房長官発言(平成18年6月16日(金)閣僚懇談会)

(五周年タウンミーティングの実施について)

タウンミーティングにつきましては、平成十三年六月以来、全国各地において多様な形で開催してまいりましたが、本日で五周年を迎えました。この節目に、「開かれた心、新しい未来」をテーマにして、来る七月二十四日に東京都内で五周年タウンミーティングを開催します。

本タウンミーティングでは、小池大臣、猪口大臣と、担当大臣である私が出席し、今後の日本の重要課題の中で、主に「環境と経済」「多様な機会のある社会」「少子化と社会の仕組み」の三つの課題に焦点を当て、これからの日本が進むべき方向性について、国民と対話します。

これまで、タウンミーティングに御協力いただきました閣僚の皆様にご感謝申し上げますとともに、引き続き御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

○官房長官発言(平成18年9月5日(火)閣僚懇談会)

(「タウンミーティング—小泉内閣の国民対話—」について)

タウンミーティングにつきましては、新しい社会、新しい未来を創造していくため、小泉内閣の各閣僚と国民との直接対話の場として、平成十三年六月より開始し、先週末の八戸と横浜まで、全国各地で合計百七十四回開催し、のべ六万八千人の国民の皆様は大変活発な御参加を得ることができました。

これにより、双方向性を重視した、内閣の重要課題に関する閣僚と国民との対話が定着し、国民の目線に合った政策を進めるための基盤を構築することができたと考えております。

これまで、タウンミーティングに御協力いただきました閣僚の皆様は心より感謝申し上げます。

タウンミーティングについての安倍総理・官房長官の発言等

○第165回国会における安倍内閣総理大臣所信表明演説(平成18年9月29日)

(むすび)

私は、国民との対話を何よりも重視します。メールマガジンやタウンミーティングの充実に加え、国民に対する説明責任を十分に果たすため、新たに政府インターネットテレビを通じて、自らの考えを直接語りかける「ライブトーク官邸」を始めます。

○官房長官発言(平成18年10月3日(火)閣僚懇談会)

(安倍内閣の情報発信強化について)

先に行われた安倍総理の所信表明演説にもありましたように、国民への説明責任を十分に果たすため、メールマガジンやタウンミーティングの充実に加え、新たに政府インターネットテレビを通じて、安倍総理が自らの考えを直接語りかける「ライブトーク官邸」を始めます。

明後日(5日)には「安倍内閣メールマガジン」(仮称)の創刊準備号を配信し、また政府インターネットテレビ、官邸ホームページをリニューアルする予定です。

各閣僚の皆様におかれては、メールマガジンへの寄稿、政府インターネットテレビのインタビュー番組への出演等に格段のご協力をお願いいたします。

○タウンミーティングに係る基本的な意思決定の流れ

開催 3 ヶ月前 各省庁から開催テーマ、開催候補地について要望。
※テーマにより、内閣府タウンミーティング室から各省庁に要請するものもある。



開催 2 ヶ月前 内閣府タウンミーティング室において各省庁と協議の上、諸般の要素を加味して、開催日時、開催場所、募集人員、登壇者を決定。
※諸般の事情＝地域的バランス、当該テーマのタイミング等



開催 1 ヶ月前 公表
○各省大臣が出席するタウンミーティングの場合は、公表日の前日に官邸へ開催の連絡。
※総理、官房長官の場合は、官邸事前了承



約 1 ヶ月後

開催

タウンミーティング開催までの基本的手順(注1)

	主な事務内容	方針の決定等(注2)	関係府省	共催の場合(共催団体の事務)	誘負業者
3月前	<p>開催の打診</p> <p>(タウンミーティング担当室から関係府省に打診する場合) * 参事官の指示で総括担当が関係府省に打診⇒実施が具体化しそうな場合は主催者グループで仮の主担当を決定、企画を進める。</p> <p>(地方公共団体等が共催を希望する場合) * 共催希望団体から総括担当への申し込み⇒共催の審査⇒総括担当が共催審査の結果を共催希望団体に連絡するとともに、室内幹部打ち合わせで開催可否と決定した事業については関係府省に移送。関係府省の審査の上、開催が可能と決定された場合には総括担当は、主催者グループに事業を移送。</p>	<p>【共催の審査】室内全員による投票の結果を踏まえて、幹部打ち合わせ※1にて開催の可否を決定。 ※1 メンバー: 室長、次長、参事官、総括室長</p>	<p>関係府省 (関係府省から要請する場合) * 関係府省から総括担当に開催の要請。</p>	<p>共催の場合(共催団体の事務) * 共催企画書の作成 * (半年〜3月前)共催企画書の打診・送付。</p>	<p>誘負業者</p>
	<p>・主担当の正式決定</p> <p>・主担当が関係府省とテーマ、開催日時、開催地、登壇者を具体的に調整(共催の場合は共催者含む)。</p>	<p>【主担当グループの間の調整で決定】 【定例会議※2に随時報告】</p>	<p>・主担当とテーマ、開催日時、開催地、登壇者を調整。</p>		
2月前	<p>企画概要の調整</p> <p>・当該タウンミーティングの開催をタウンミーティング担当室として決定。</p>	<p>【定例会議で決定】</p>			
	<p>企画概要の決定</p> <p>・当該タウンミーティングの開催をタウンミーティング担当室として決定。</p>	<p>【定例会議に随時報告】</p>		<p>・会場の予約</p>	<p>・会場確認(平面図等による確認) ・会場の予約(共催以外)</p>
	<p>会場の確保</p>			<p>・出席側様にタウンミーティング出席の了解を得る。</p>	
	<p>開催の最終決定</p> <p>・テーマ、開催日時、開催地等について、登壇関係の了解を得て、当該タウンミーティングの開催を最終決定。</p>	<p>【定例会議で決定】</p>			
1.5月前	<p>広告媒体の検討及び決定</p> <p>・主担当が業者の原案をもとにポスター、チラシ案を作成。</p> <p>・主担当が業者の新聞広告案を確認・修正。</p>	<p>【定例会議で決定】 【定例会議で決定】</p>			<p>・ポスター、チラシ原案を作成 ・新聞広告原案を作成</p>
	<p>公表資料の作成</p> <p>・主担当が関係府省と協議の上、公表資料(開催概要、事業期間等の記載された資料)を作成。</p> <p>・総括担当より官邸・府内幹部等に当該タウンミーティングの公表資料を事前に送付。</p>	<p>【定例会議で決定】</p>	<p>・公表資料用趣意文の作成</p>		<p>・現地での会場確認・会場担当者との打ち合わせ</p>
1月前	<p>開催公表</p> <p>・総括担当が記者クラブ、ホームページに公表。(県・市においても適宜公表)</p> <p>・総括担当が県警にタウンミーティングの開催を通知。</p>		<p>・関係省(内閣府以外)は記者クラブ、ホームページに公表。</p>	<p>・記者クラブ、ホームページに公表。</p>	<p>・進行台本・運営マニュアル初稿作成</p>
公表翌日	<p>参加者募集開始</p> <p>・地元新聞への新聞広告の掲載。</p> <p>・主担当が各地方局・県・市等にポスター・チラシの配布依頼。</p> <p>・主担当が県・市にホームページリンク、広報への募集掲載を依頼。 ※依頼しない場合もある。また、県・市に参加希望者の取りまとめを依頼する場合もあった。</p> <p>・主担当が関係府省、県・市に関係者席への登録を依頼。 ※県・市に希望者の登録を依頼する場合もあった。</p>	<p>【室長及び次長のうち当該案件を担当する者については定例会議で決定】 【定例会議で応募状況(人数)・事前意見の報告・協議(随時)】</p>		<p>・参加者募集受付</p> <p>・誘負業者と都道府県警察との打ち合わせに参加。</p> <p>・ポスター・チラシを各地方支分部局・県・市等に送付</p> <p>・都道府県警察との打合せを踏まえ、進行台本・運営マニュアル第2稿作成。</p> <p>・共催団体取りまとめ分(公募の一環)の応募者一覧を誘負業者に送付。</p>	<p>・参加者募集受付 * 参加者募集受付⇒応募状況・事前意見を随時主担当に送付。 * (3週間前)都道府県警察との打ち合わせ * ポスター・チラシを各地方支分部局・県・市等に送付 * 都道府県警察との打合せを踏まえ、進行台本・運営マニュアル第2稿作成。</p>
1週間前	<p>参加者募集締切</p> <p>・応募人数が募集人数を大幅に上回る場合には、会場の収容人数も踏まえて、主担当の判断で抽選の実施を決定(抽選事務は業者または主担当が実施)。</p> <p>・主担当が事前意見(参加者募集のご案内において募集したものの集約)。</p> <p>・主担当が公募の際に提出を依頼した関係府省、県・市から関係者席に座る者のリストを入手。</p>		<p>・ポスター、チラシの貼り出し</p> <p>・広報による周知</p> <p>・主担当に関係者席に座る者のリストを提出。</p>	<p>・参加者募集受付</p> <p>・誘負業者と都道府県警察との打ち合わせに参加。</p> <p>・ポスター・チラシを各地方支分部局・県・市等に送付</p> <p>・都道府県警察との打合せを踏まえ、進行台本・運営マニュアル第2稿作成。</p> <p>・共催団体取りまとめ分(公募の一環)の応募者一覧を誘負業者に送付。</p>	<p>・進行台本・運営マニュアル初稿作成 * 参加者募集受付⇒応募状況・事前意見を随時主担当に送付。 * (3週間前)都道府県警察との打ち合わせ * ポスター・チラシを各地方支分部局・県・市等に送付 * 都道府県警察との打合せを踏まえ、進行台本・運営マニュアル第2稿作成。</p>
	<p>運営マニュアル・進行台本に基いた打ち合わせ</p>	<p>【関係者打ち合わせ※3で業者から説明を聴取の上、修正等を指示】 ※3 メンバー: 室長、参事官、及び当該タウンミーティングに係る担当次長・主担当・副担当・会場担当</p>		<p>・参加者募集受付</p> <p>・誘負業者と都道府県警察との打ち合わせに参加。</p> <p>・ポスター・チラシを各地方支分部局・県・市等に送付</p> <p>・都道府県警察との打合せを踏まえ、進行台本・運営マニュアル第2稿作成。</p> <p>・共催団体取りまとめ分(公募の一環)の応募者一覧を誘負業者に送付。</p>	<p>・進行台本・運営マニュアル初稿作成 * 参加者募集受付⇒応募状況・事前意見を随時主担当に送付。 * (3週間前)都道府県警察との打ち合わせ * ポスター・チラシを各地方支分部局・県・市等に送付 * 都道府県警察との打合せを踏まえ、進行台本・運営マニュアル第2稿作成。</p>
前日	<p>会場事前確認</p> <p>・連絡、控室、会場の確認及び業者との事前打ち合わせ(主担当、副担当、会場担当)</p>			<p>・会場設置</p> <p>・連絡、控室、会場の確認及び事前打ち合わせ</p>	<p>・会場設置 * 連絡、控室、会場の確認及び事前打ち合わせ</p>
開催日	<p>開催</p> <p>・連絡、控室の最終確認とリハーサルへの出席。 * タウンミーティング開催中は参事官、主担当は賛助会(進行指揮)、室長(または担当次長)、副担当は傍聴席(議事要旨作成)、会場担当は受付待機(入場者対応)。 * 開催日直後の開催後の関係懇談会費用資料の作成⇒総括担当が関係者席に送付 * 出席関係から関係懇談会でタウンミーティングについて報告</p>		<p>・連絡、控室の確認とリハーサルへの出席。 * タウンミーティング開催中は参事官、主担当は賛助会(進行指揮)、室長(または担当次長)、副担当は傍聴席(議事要旨作成)、会場担当は受付待機(入場者対応)。 * 関係懇談会費用資料の確認</p>	<p>・連絡、控室、会場の確認及び事前打ち合わせ</p>	<p>・リハーサルの実施 * タウンミーティング開催中は賛助会(進行指揮)、会場管理、受付等を担当。</p>
翌火曜日	<p>関係懇談会</p>				
2週間後	<p>ダイジェストの作成・公表</p> <p>・5分間ダイジェストの作成(副担当)⇒ホームページに公表</p>	<p>【参事官・室長の了解を得て公表】</p>			<p>・議事要旨原案を副担当に送付。 * 会場の写真を編集し総括担当に提出。</p>
1月後	<p>議事要旨の作成・公表</p> <p>・議事要旨の作成(副担当)⇒ホームページに公表</p>	<p>【参事官・室長・関係各省にて内容確認の上公表】</p>			
2月後	<p>動画配信</p> <p>・会場担当がタウンミーティングの録画画像について業者と調整の上、ホームページに公表。</p>				

注1:この基本フローは基本的な流れを示したものであり、時期及び主担当の運用による差異があり得る。
 注2:定例会議や関係者打ち合わせにおいて運営に必要な事項について報告・協議。
 注3:タウンミーティングのテーマについては、適宜、当座のものについてタウンミーティング担当室から官房長官に諮っている。

教育改革 タウンミーティング イン 八戸

日時：平成18年9月2日（土）会場：八戸プラザホテル 2階 富士の間



進行台本

平成18年 8月31日

最終稿

内閣府大臣官房タウンミーティング担当室



教育改革 タウンミーティング イン 八戸

時間	LAP	項目	コメント&進行	備考
		開場前セッティング	<p>ステージセッティング略図</p> <p>■ステージ上の各席に手配物を用意。 ①レポート用紙および筆記用具 ②ミネラルウォーター、おしぼり、グラス ③教育改革 タウンミーティング イン 八戸の概要 ④教育改革 タウンミーティング イン 八戸の進行シナリオ ⑤ステージ登壇者位置図(客席ブロック図付き) ⑥小坂大臣説明資料(カバー) ⑦一般参加者配布用封筒(※アンケートを除く)</p> <p>■スクリーンにロゴ ■ステージ照明はスクリーンの映像に干渉しない程度の明るさ ■客電は70%</p>	

時間	LAP	項目	コメント&進行	備考
13:20			<p>昨年11月から動画配信サイト「政府インターネットテレビ」が新たに始まりました。総理の動きを1週間単位でまとめた「らいおんウィークリー」をはじめ、総理記者会見、官房長官会見の様態などを動画でご覧いただくことができます。</p> <p>それでは、政府インターネットテレビの9チャンネル、タウンミーティングのダイジェストの中から、平成18年3月19日に開催された「子どもの安全を考える タウンミーティング イン 大垣」の様態をダイジェスト版にまとめたものをご覧ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>「子どもの安全を考える タウンミーティング イン 大垣」</p> </div> <p>※適宜繰り返し</p>	<p>ロゴ</p> <p>↓</p> <p>映像</p> <p>↓</p> <p>ロゴ</p>

時間	LAP	項目	コメント&進行	備考
13:30			<p>■手話通訳、所定の位置にスタンバイ</p> <p>カゲアナ 皆様、本日は、「教育改革 タウンミーティング イン 八戸」にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>会場内のお席は、自由席となっておりますが、会場警備の都合上、一部前方に関係者席を設けておりますので、ご確認のうえ、ご着席ください。携帯電話は、他のお客様のご迷惑となりますので、予めマナーモードに設定するか、電源をお切りくださいますようお願い致します。録音・撮影は演出の妨げとなりますので、ご遠慮くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>また、皆様にタウンミーティング事前登録とアンケートのご協力をお願いいたします。受付でお配りいたしました封筒の中にアンケート用紙とタウンミーティング事前登録用紙が同封されております。</p> <p>事前登録をいただきますと、タウンミーティングがお住まいの近くで開催される場合に、ご案内をお送りさせていただきます。皆様、是非ご利用ください。</p> <p>アンケートは両面印刷となっており、おもて側をタウンミーティング開催前に、うら側をタウンミーティング開催後に、記入していただく様式となっております。ご面倒ではございますが、おもて側のみ、あらかじめご記入いただくようお願いいたします。</p> <p>タウンミーティングは14時00分より開始いたします。開始まで今しばらくお待ち下さい。 (適宜繰り返す)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■カゲアナは録音で対応する。 ■カゲアナは全て手話通訳する。 ■カゲアナ終了後、手話通訳はいったん退場する。 ■ステージ上のコーディネーター席、関係者の席にペットボトル(ミネラル)とグラス、おしぼりをセット。 	<p>備考 BGM</p> <p style="text-align: right;">F.O</p>



時間	LAP	項目	コメント&進行	備考
13:44	6'	5周年VTR	<p>(カゲナレ)</p> <p>平成13年6月から開始したタウンミーティングは、平成18年6月をもって5周年を迎えました。これまでのタウンミーティングの軌跡をまとめたビデオ、「タウンミーティング5周年を記念して」を映像にてご覧下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>タウンミーティング5周年を記念して (約6分)</p> </div>	



時間	LAP	項目	コメント&進行	備考
13:50	10'	事前説明	<p>(コーディネーター)</p> <p>皆様こんにちは。本日は、「教育改革 タウンミーティング イン 八戸」にようこそお越しいただきました。</p> <p>私は、タウンミーティングのコーディネーターを務めさせていただきます。津田美穂子と申します。どうぞ最後までお付き合いのほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、はじめに、国民の皆様と関係の方々との対話であります「タウンミーティング」につきまして、ご説明をさせていただきます。</p> <p>「タウンミーティング」は、国民の皆様と関係の双方向での対話が重要であるという考えに基づいて、平成13年の6月から開催しているもので、これまでに、6万7千人を超える国民の皆様にご参加いただき、たくさんの貴重なご意見・ご提案をいただいております。</p> <p>平成14年度からは、特定のテーマに焦点を絞ったタウンミーティングのほか、国民の皆様から様々な企画をご提案いただき、それに基づいた、共催方式のタウンミーティングも開催しております。</p> <p>タウンミーティングは、国民の皆様と関係の方々との直接対話を行うものです。皆様一人一人のお顔を見て、意見交換できる大きさの会場で行っておりますので、今回は、ここ八戸プラザホテル2階「富士の間」にて開催をしております。</p> <p>さて、本日のタウンミーティングのテーマは、「教育改革」です。</p> <p>「国家百年の計」たる教育は、社会の存立基盤であり、一国の将来は教育にかかっていると言っても過言ではありません。</p> <p>しかしながら、教育をめぐる状況は大きく変化し、様々な課題も指摘されています。このため、政府では、教育の根本を定める教育基本法の改正や義務教育の構造改革などに取り組んでいます。そこで、現在取り組んでいる教育改革やこれからの教育のあり方について、</p> <p>国民の皆様のご意見や疑問などを伺うことによって、政府の取り組み姿勢に対する理解を深めていただくと共に、広く周知することを目的として、青森県八戸市において、「教育改革 タウンミーティング イン 八戸」を開催します。</p> <p>本日は「教育改革」というテーマについて、ご来場の皆様と一緒に考え、有意義な対話を進めて参りたいと思っております。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>	



時間	LAP	項目	コメント&進行	備考
			<p>(コーディネーター)</p> <p>それでは、本日のタウンミーティングの進め方をご説明いたします。 はじめに、本日ご出席の 小坂(こさか) 文部科学大臣 梶田(かじた) 中央教育審議会委員、兵庫教育大学長 政治ジャーナリストの細川(ほそかわ)さん からそれぞれご挨拶をいただきます。</p> <p>そのあと、本日のテーマであります「教育改革」について、 ご来場の皆様からご意見、ご質問をいただき、対話を進めてまいります。 本日は、大臣や有識者と直接対話ができるせっかくの機会ですので、 会場にお集まりの皆様、日頃から思っている、「教育改革」についてのご意見、及び 政府の取組みに対するご質問など、ぜひ、積極的にご発言いただきたいと思います。</p> <p>なお、本日の対話のテーマは、「教育改革」ですので、 ご質問は、このテーマに沿ったものをお願いいたします。</p> <p>次に、皆様にご発言いただく際のルールについてご説明いたします。 できるだけ多くの方のご意見やご質問をお伺いするために、お一人の発言時間を 2分に限定させていただきます。発言時間が1分半になりましたら、この音が流れます。 この音が鳴りましたら、残り30秒ですから、ご発言をおまとめください。 そして制限時間の2分になりましたところで、同じ音が二度流れます。 この音が鳴りましたら、速やかに発言を終了してください。</p>	<p>PPT(2分表示)</p> <p>アテンション音1</p> <p>アテンション音2</p>



時間	LAP	項目	コメント&進行	備考
			<p>(コーディネーター)</p> <p>また、会場内の皆様にご発言いただく際には、挙手を求めますので、発言を希望される方は、 挙手をお願いいたします。 手を挙げられた方の中から、発言される方を指名させていただきます。 指名された方のごとく、係の者がマイクを持って順番に伺いますので、ご職業と お名前をフルネームでおっしゃってからご発言ください。 コーディネーターの許可を得ない発言は、進行の妨げとなり、他の参加者の皆様の ご迷惑となりますので、おやめください。</p> <p>また、受付時にご案内しましたように、大声、ヤジ、横断幕の掲示など、進行の妨げとなる 行為は固くお断りいたします。ルールに従わない場合は、ご退場いただく場合もありますので、 予めご承知ください。以上、皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>なお、先ほどもお伝えいたしましたように、今日は大臣や有識者の方々とは直接対話ができる せっかくのチャンスですので、こんなことを質問したい、こんな意見を言いたいと思ひの方は、 今から発言内容などをお考えいただくなど、ご準備をよろしくお願いいたします。 また、できるだけ多くの方のご意見やご質問をお伺いするため、ご意見やご質問は1,2問程度に おまとめいただくようお願いいたします。</p>	



時間	LAP	項目	コメント&進行	備考
			<p>(コーディネーター)</p> <p>最後に非常口のご案内をさせていただきます。 この会場の非常口は、皆様からご覧になって右側1ヶ所後方1ヶ所計2箇所となっております。 緊急時には、係員が皆様を誘導いたします。係員の指示に従って避難いただきますよう ご協力をお願いいたします。 まもなく開始の時間となりますが、その前に皆様にお渡しした封筒の中に入っております タウンミーティング事前登録用紙とアンケートをご確認ください。</p> <p>この事前登録をいただきますと、お住まいの近くでタウンミーティングが 開催される場合に、ご案内をお送りさせていただきます。 皆様、是非ご利用ください。</p> <p>アンケートは、用紙のおもて側の項目について、すでにご記入いただいておりますでしょうか。 アンケートは両面印刷されておりまして、おもて側には「事前アンケート」と赤字で書いて おりますが、こちらの面は、タウンミーティングの開始前にご記入いただきたいと思います。 まだ、記入がお済みでない方は、今から少しお時間を設けますので、ご記入をお願い致します。 そして、うら側の項目はタウンミーティングを終えてから、ご記入いただくものですので、 今は記入なさらないでください。</p> <p>ご面倒ですが、今後のタウンミーティングをより充実したものにしていくために、皆様のご ご協力をお願いいたします。</p> <p>タウンミーティング事前登録用紙とアンケート用紙は、タウンミーティング終了後、 ロビーの受付係が回収いたしますので、お渡しくださいませようお願いいたします。</p> <p>なお、只今、地球温暖化対策に向けた運動として、「ノーネクタイ、ノー上着」を推進しておりますので、 本日スタッフは、「ノーネクタイ、ノー上着」で実施しております。 また、会場内のクーラーに関しても、少し弱めに設定しております。 皆様のご理解、ご協力の程、よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、開会までしばらくお待ちください。</p> <p>■コメント終了後、コーディネーター、手話通訳はいったん退場する。</p>	<p>場所を具体的に 指し示す</p> <p>TM事前登録用紙 を実際に来場者 に示す</p> <p>アンケートを実際 に来場者に示す</p>

8



時間	LAP	項目	コメント&進行	備考
14:00	1'	本ベル	<p>■本ベル ■客電ダウン</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>オープニング映像 (約50秒)</p> </div> <p>■映像終了、ロゴマークになるところで、コーディネーター登壇、着席。 ■関係等は、オープニング映像開始に合わせて、関係控室を出発。 出発のタイミングについて再度確認。(再度トイレの確認) ■関係等のステージ登壇準備の確認ができたところで、本ベル。 ※登壇者への座席位置説明・確認を行う。</p>	
14:01	1'	開会コメント& 登壇者紹介	<p>(コーディネーター)</p> <p>ただいまより、「教育改革 タウンミーティング イン 八戸」 を始めさせていただきます。 それでは、本日ご登壇いただく皆様にご登壇いただきます。 どうぞ拍手をもってお迎えください。</p> <p>■コーディネーターは起立して登壇者を迎える。 ■ステージ上手より、小坂大臣を先頭に登壇者が入場し、所定の位置に着席する。</p> <p>(コーディネーター)</p> <p>ご出席の皆様をご紹介します。</p> <p>小坂 憲次(こさか けんじ)文部科学大臣です。</p> <p>梶田 毅一(かじた えいいち)中央教育審議会委員、兵庫教育大学長です。</p> <p>政治ジャーナリスト、品川区教育委員会教育委員、また、中央教育審議会専門委員でいらっしゃる 細川珠生(ほそかわ たまお)さんです。</p>	<p>登壇者 (MD)</p> <p>登壇者の着席を 確認して</p>

9

時間	LAP	項目	コメント&進行	備考
14:02	6'	登壇者からの ご挨拶	(コーディネーター) はじめに、小坂(ごさか)大臣より、ご挨拶をいただきます。 小坂(ごさか)大臣、よろしくお願いたします。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 小坂 大臣 ご挨拶(2分) </div> (コーディネーター) 小坂(ごさか)大臣、ありがとうございました。 続きまして、梶田(かじた)さんからご挨拶をいただきます。 梶田(かじた)さん、よろしくお願いたします。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 梶田 委員 ご挨拶(2分) </div> (コーディネーター) 梶田(かじた)さん、ありがとうございました。 続きまして、細川(ほそかわ)さんからご挨拶をいただきます。 細川(ほそかわ)さん、よろしくお願いたします。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 細川 氏 ご挨拶(2分) </div>	カンベ使用 ※2分 ※5分 ※10分 カンベ使用 ※2分 ※5分 ※10分 カンベ使用 ※2分 ※5分 ※10分
14:08	10'	大臣からの説明	(コーディネーター) 細川(ほそかわ)さん、ありがとうございました。 続きまして、小坂(ごさか)大臣より、教育改革についてご説明をいただきます。 小坂(ごさか)大臣、よろしくお願いたします。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 小坂 大臣 ご説明(10分)※PPT使用 </div>	

10

時間	LAP	項目	コメント&進行	備考
14:18	93'	会場参加者と 登壇者による対話	(コーディネーター) それでは、ここからは、「教育改革」というテーマにつきまして、 会場の皆様とご出席いただいている方々との対話を進めてまいります。 発言をご希望の方に、お願いたします。 発言をご希望の方には、挙手をお願いたしますが、ご発言の際は、はじめに、 ご職業とお名前をおっしゃってください。 それから、皆様のお座席を、ステージ向かって左側から A、B、C、D、E、F の 6つのブロックに分けさせていただきます。 ■コーディネーターはマイク係と連動し、各ブロックをひとつずつ身振りて説明する。 (コーディネーター) 私が発言者を指名させていただく場合、Bブロックの前の席の方、赤い服を着た方.. というような言い方をします。指名を受けた方は、マイク係がマイクをお渡しますので、 マイク係のいる通路までお出になって、発言をお願いたします。 まず、私の方から3名の方を指名させていただき、順番に発言をしていただきます。 私が順番にお呼び出しをいたしますので、それまで発言はお待ちください。 それでは、お待たせいたしました。発言を希望される方は、挙手をお願いたします。	スクリーンに ブロック図(PPT.) タイミングは マイク係と確認

11

時間	LAP	項目	コメント&進行	備考
			<p>■コーディネーターは、3名まとめて指名する。 発言者の着席位置はまんべんなく、老若男女、偏らずに指名する。</p> <p>■マイクはマイク係①が最初の発言者のところまでお持ちする。 マイク係②③は次の発言者の近くの通路でスタンバイ。 マイク係②③は、自分の受け持ちの参加者の発言の段になるまで、マイクを先渡ししない。</p>	
			<p>■コーディネーターは、AからCのABC順に指名し、C→A→Bというようにまぢまぢには指名はしない。</p> <p>■発言者が名乗らなかつた場合は、コーディネーターは、名前と職業を言うよう指摘する。 発言者が名前のみで職業を言わなかつた場合は、職業を聞き直すことはせずに、そのまま進行する。</p> <p>■発言者の発言が1分半のところでアテンション音1、2分でアテンション音2を鳴らす。</p> <p>■アテンション音2が鳴ったところで、「そろそろお時間です。」と促す。 それでも発言を続けて、止めそうもない場合は、「(お時間ですので)、発言をおまとめください。」と規制する。 それでも発言を止めず、司会が再度制止した場合、音響係はマイク音を0にする。 「(進行の流れを妨げるような発言に対しては、毅然と素早く対応すること。 そうでない通常の発言が若干長引いた場合には、強制的な印象を与える規制はなるべく避け、制限時間内で機械的に止めるのではなく、発言の流れや会場の雰囲気等も踏まえて、臨機応変にソフトに対応を行うこと。)」</p> <p>■マイク係はマイクを受け取る際は、すばやくマイクを受け取るのではなく、できるだけ丁寧な対応を心掛ける。</p> <p>■司会と発言者のやり取りがうまく行かず、気まずい雰囲気になった場合は、登壇者に意見を求めるなどして、雰囲気の修復を図る。</p> <p>■フロアからの質問がない場合は、「せっかくの機会ですので、どうぞご意見、ご質問をお願いします。」と発言を促す。 それでも無い場合は、申込みの際に参加希望者が書いた、事前アンケート欄に記入してある質問・意見から、一、二を取り上げて、登壇者に意見を求める。</p> <p>■本日のテーマ以外の質問の場合は、コーディネーターが質問に割って入り、「本日のテーマは、『教育改革』について、ですので、このテーマに沿ったご質問、(ご意見)をお願いします。」と伝える。</p>	<p>実際に行うかどうかの指示はTM室より行う</p> <p>機械的に対応するのではなく、発言者がテーマに沿った発言をするよう誘導する。それでも止めない場合は、TM室の指示により、発言をやめさせる。 TM室より適宜指示を行う</p>

12

時間	LAP	項目	コメント&進行	備考
			<p>■所定の3名の発言者が決まったところで、 (コーディネーター) それでは、まずお一人目の方、お願いいたします。 最初にご職業とお名前をフルネームでお願いいたします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 会場参加者からの発言 (一人2分以内) </div> <p>(コーディネーター) 続いて二人目の方、お願いいたします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 会場参加者からの発言 (一人2分以内) </div> <p>(コーディネーター) 最後に三人目の方、お願いいたします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 会場参加者からの発言 (一人2分以内) </div> <p>(コーディネーター) それでは、ただいまのご発言につきまして、壇上の皆様からご発言をいただきたいと思ひます。 どなたかお願いできますでしょうか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 登壇者からの発言 (一人3分程度) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 登壇者からの発言 (一人3分程度) </div>	<p>1分半で、アテンション音1 2分で、アテンション音2</p>

13

時間	LAP	項目	コメント&進行	備考
15:51	9'	まとめの発言 (タウンミーティングを終えての感想等)	<p>■コーディネーターは発言の意志を示している登壇者のみに意見を求める。 発言の意志があるか、様子を見ながら意見を求める。 (無理をして全ての登壇者に発言を求めない)</p> <p>■コーディネーターは原則、以下同様に「会場参加者からの発言(3名)+登壇者からの発言」のパターンを所定の時間まで繰り返す。 (コーディネーター)</p> <p>皆様からは、まだまだご意見やご質問をいただきたいのですが、そろそろお時間のようです。最後に、本日ご登壇の皆様から、それぞれ、ひとことずつ、ご発言をお願いいたします。</p> <p>(コーディネーター)</p> <p>それでは、細川(ほそかわ)さん、よろしくお願いたします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>細川 氏 ひとこと (3分程度)</p> </div> <p>ありがとうございました。 それでは、梶田(かじた)さんからお願いいたします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>梶田 委員 ひとこと (3分程度)</p> </div> <p>(コーディネーター)</p> <p>ありがとうございました。 最後に小坂(こさか)大臣、よろしくお願いたします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>小坂 大臣 ひとこと (3分程度)</p> </div>	<p>変更がある場合は、TM並より指示</p> <p>※指名の際は毎回スラッシュにブロック図を載せ</p> <p>時間が押していて、登壇者の話が長くなることが予想される場合、「おひとり〇分程度でお願いします」とコメント。</p>

14

時間	LAP	項目	コメント&進行	備考
16:00		エンディング	<p>(コーディネーター)</p> <p>ありがとうございました。 それではお時間となりましたので、以上をもちまして、「教育改革 タウンミーティング イン 八戸」を終了させていただきます。</p> <p>登壇者の皆様、どうもありがとうございました。 どうぞご退場ください。皆様、どうぞ拍手でお送りください。</p> <p>■コーディネーターのコメントで、登壇者は席を立ち、退場。 (※記者会見の準備ができるまで、関係控室でご休憩。)</p> <p>■コーディネーターは退場せず、その場で以下コメント</p> <p>これをもちましてタウンミーティングを終了させていただきます。 本日は、「教育改革 タウンミーティング イン 八戸」にご参加いただきましてありがとうございました。 皆様のご協力をもちまして、有意義なタウンミーティングになりましたことを厚くお礼申し上げます。 どうぞ、まだまだ発言できなかったという皆様、発言が足りなかったという皆様、アンケート用紙にご意見を記入いただきまして、ふるってお寄せいただきますよう、ご意見をお待ちしております。</p> <p>最後までお付き合いいただきありがとうございました。 どうぞお気をつけてお帰ってください。 ■コーディネーター退場。</p>	
		カゲアナ(録音)	<p>ご来場の皆様にお願い申し上げます。 ご面倒ではございますが、アンケートのうら側につきましては、会場ロビーの方にアンケート記入台を設けておりますので、そちらでご記入をお願い致します。 記入後のアンケートは、ご退場の際に、タウンミーティング事前登録用紙、参加証とともに、ロビーの受付係にお渡しくださいますようお願いいたします。</p> <p>記者会見に参加される報道関係者の皆様は、準備が整い次第、スタッフがご案内いたしますので、しばらくそのままお待ちください。</p>	

15

タウンミーティング当日の運営マニュアルの構成・主な項目

1. 全体概要
 - ・開催概要
 - ・全体スケジュール
 - ・進行概要
 - ・実施運営組織図
 - ・スタッフ配置・役割分担
2. 会場使用計画
 - ・会場周辺図
 - ・会場全体使用計画
 - ・ホール内レイアウト
 - ・関係者レイアウト
 - ・登壇者席次表
 - ・記者会見場レイアウト
3. 閣僚対応業務
 - ・閣僚行程表
4. 受付対応業務
 - ・参加者フロー
 - ・受付・クローク業務
 - ・受付業務詳細（一般参加者対応、報道関係者対応、障害者・託児対応等）
5. 警備・誘導対応業務
 - ・閣僚対応
 - ・警備員配備計画
 - ・誘導スタッフ配備計画
6. 進行関係業務
 - ・業務内容マイク係業務
 - ・記録担当業務
7. 緊急時対応業務
 - ・非常時対応（連絡系統、火災発生時、地震発生時、不審物・爆発物予等）
8. 庶務資料
 - ・パンフレット発送物管理表
 - ・運営担当者一覧